

衛生委員会議事録

2023年12月18日 午後3時30分より、東京都千代田区丸の内1-1-1パレスビル内 三菱ケミカル株式会社会議室において、エムシーパートナーズ株式会社の衛生委員会を開催した。(会議室内は事務局1名のみであり、各委員はオンラインにて出席)

出席者	委員（産業医）	古澤 真美
	委員（従業員代表）	櫻井 文代
	同（従業員代表推薦）	徳野 幸枝
	同（ ）	高梨 雅恵
	同（会社推薦）	川西 治美
	同（会社推薦兼事務局）	松田 明子
欠席者	委員長（衛生管理者）	松村 美奈子

開催にあたり、出張の為、委員長欠席を伝えた

1. 事務局から「労働災害状況」及び「交通災害状況」について、前月はいずれもゼロ災であった旨報告をした。
2. 次に事務局から、従業員の前月の労働時間について、別紙「3. 時間外労働状況」に基づき前年同月との対比等説明した。11月の平均残業時間について、昨年同月との差はほとんどなかったが、最高残業時間について9.5時間ほどの減少となっていたと述べた。最高残業時間となる該当スタッフは、データP Jマネジメントを行っており、業務量が多いこと、業務スケジュールの遅延によるものであった。休日労働については、先月と比べると平均は変わりませんが、最高時間は昨年と比べ14時間増となっている。該当スタッフは工場勤務の方で、現場対応の為、休日労働が発生した。併せて80時間を超える方はいなかったと報告した。
3. 次に、古澤委員（産業医）から【感染性胃腸炎】をテーマに講和いただいた。コロナ禍感染性胃腸炎は減ったが、10月から増え始めている。手を通じて感染するウイルスなので、手を十分に洗い感染予防につとめていただきたいとのことだった。感染性胃腸炎についての質問・意見等がないことを確認し本会を閉会した。

次回開催日：1月15日月曜日 15時30分から

2023年11月

衛生委員会

議題1 安全概況

議題2 労働時間報告

議題3 健康講話

以上

次回 1月15日(月)15:30～

■時間外労働状況					11月
摘 要		当月	前年同月	差異	単位
対象者（パート除く）		69	76	- 7人	
平均労働日数		19.2	19.1	+ 0.1日	
平均休日労働日数		0.0	0.0	- 0.0日	
平均労働時間(年休除く)		134.3	138.9	- 4.5時間	
残業時間	平均	9.0	8.6	+ 0.3時間	
	最高	44.8	54.3	- 9.5時間	
休日労働時間	平均	0.1	0.3	- 0.2時間	
	最高	24.0	10.0	+ 14.0時間	
残業 + 休日労働	平均	9.1	9.0	+ 0.1時間	
	最高	44.8	62.0	- 17.3時間	
	80時間超	0	0	+ 0人	
※残業及び休日労働はいずれも所定労働時間に対する値					

感染症情報

感染性胃腸炎（ノロウイルスなど）の季節到来！

どんな病気？

感染性胃腸炎とは、主にウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。

原因となるウイルスには「ノロウイルス」「サポウイルス」「アデノウイルス」「ロタウイルス」などがあります。手指や食品などを介して口に入り、ヒトの腸管で増殖し、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。健康な人の多くは軽症で回復しますが、子どもや高齢者では重症化することもあるため、体調の変化に注意しましょう。

どうやってうつるの？

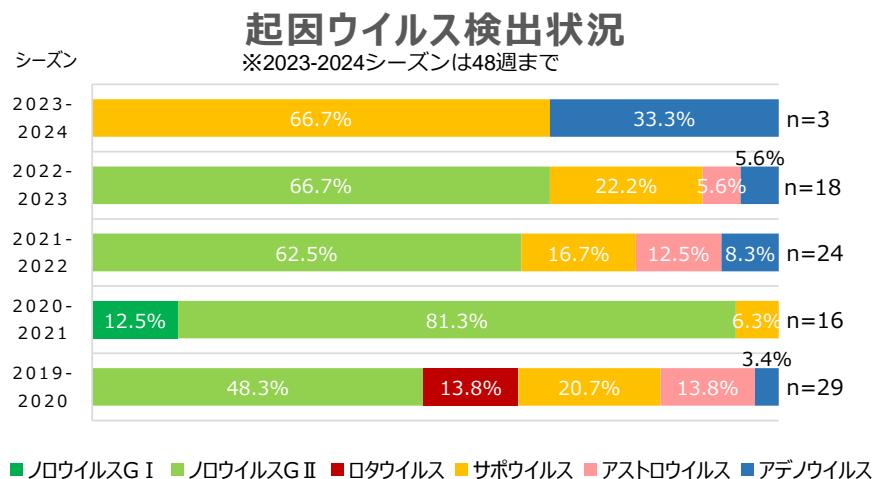
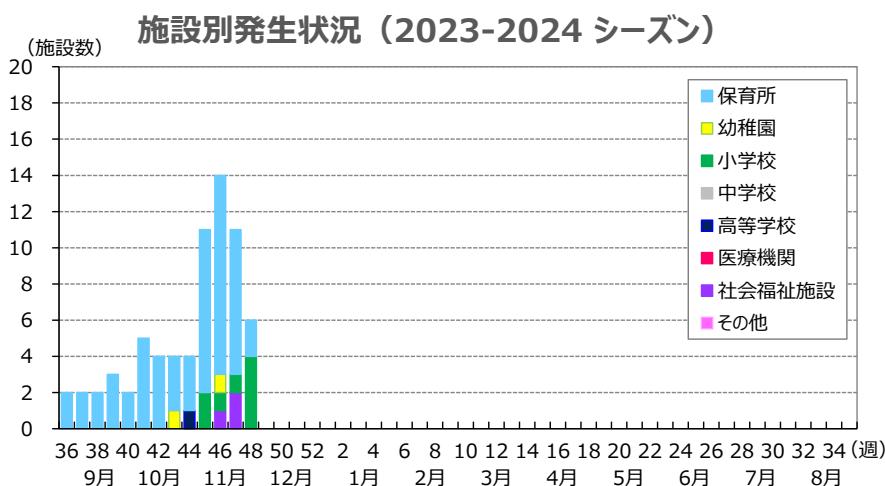
人から人へと感染する場合や汚染した食品を食べておこる場合があります。以下のような感染経路があります。

- ✓ 感染者の吐物やふん便の不適切な処理や、処理後の不十分な手洗いにより、手や環境中に残ったウイルスが体内に取り込まれた場合
- ✓ 感染した人が十分に手を洗わず調理し食品が病原体で汚染され、それを食べた場合
- ✓ 病原体で汚染されている食品を食べた場合

どのくらい発生しているの？

感染性胃腸炎は、例年、11月から増加しはじめ、12月頃をピークとして3月まで多発します。

2020年10月よりロタウイルスワクチンの定期接種が始まり、2020年シーズン以降のロタウイルスの検出は激減しました。



予防する方法や治療法は？

感染性胃腸炎の主な原因となるウイルスはアルコール消毒の効果が乏しいため、流水と石けんによる手洗いをしっかり行うことが大切です。特に排便後や調理、食事の前には、その都度、手を洗いましょう。

おう吐物やふん便を処理する時は、使い捨ての手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系の漂白剤）で処理し、処理後は、石けんと流水で十分に手を洗うことが大切です。

ノロウイルスの汚染のおそれのある二枚貝などの食品を調理する場合は、中心部まで十分に加熱しましょう（中心温度85℃～90℃で90秒以上の加熱）。

ウイルスを原因とする感染性胃腸炎の場合には特別な治療法はありません。

特別な治療方法はなく、つらい症状を軽減するための治療（対症療法）が行われます。乳幼児や高齢者では下痢等による脱水症状を生じることがありますので、注意が必要です。